

姉妹都市派遣事業を終えて

富士学苑中学校 高橋 愛珠

「英語を話す事が好き」この思いから私はこの姉妹都市派遣事業に参加しました。

この 9 日間で一番印象に残っていることはホームステイです。行く前は、「しっかりと自分の口から英語を話してコミュニケーションをとることができるだろうか。」など不安が私の中を駆け回っていました。

ホームステイ初日は、私自身とても緊張してうまく話す事ができませんでした。なので、ホストファミリーがグーグル翻訳を使って会話を始めました。グーグル翻訳を使ってしまうと日本にいるときと変わらないと思い、自分ができるだけの会話をしようと決めました。これと同時に、まさに溢れる英語に刺激を受けました。自分の口から言葉を発しないとコミュニケーションはとれないですし、自分の耳で相手の言っていることを聞くことができないと何もできなくなってしまうので、私にできることを全力でやると決めました。

ホームステイ中にホストファミリーが野球観戦に連れて行ってくれました。私の趣味は野球観戦なので、外国で実際の試合を見ることができてとても嬉しく、興奮していました。日本の応援とは少し違い、一人一人に応援歌があるのではなく、チーム全体を応援していました。スタジアム全体に一体感がうまれて、本当に素敵な時間を過ごせました。

そのほかにもゴルフやゴーカート、ダンス教室などに連れて行ってくれました。全て未経験だった私にもできるような体験をさせてくれたので本当に楽しかったです。ホストファミリーと過ごす時間が増えていくと、グーグル翻訳を使って話していたときよりも、ずっと多くの単語を使って会話を楽しむことができました。普段使っている言語は違っても、国境を越えて会話をして、笑いあえることがこんなに素敵なのかと思いました。

ホストファミリーは私たちに、「コロラドの良さを日本に伝えてほしい。」と言っていました。コロラドの自然はとっても豊かで、日本では見たこともないくらい青くて広い空が、ガーデンオブザゴッズなど写真には納まらないほどの景色を毎日コロラドで見ることができました。富士吉田市に良いところがたくさんあるように、コロラドにもまだ見たこともないような良いところがありました。良いところを発見する度に驚き、写真を撮り、忘れぬように心の中にしまいました。

この姉妹都市派遣事業でコロラド・スプリングス市を目で見て、実際に触ってたくさんのことを知るいい機会になったと思いましたし、私自身の成長にもなったと思います。9 日間というとても短い間でしたが本当に素敵な思い出でいっぱいです。このような素晴らしい体験ができたのは、様々な人たちの支えがあったからこそのもので、感謝の気持ちをもって生活していきたいです。このような貴重な機会を与えて下さりありがとうございました。今回学んだことを日々の生活や将来に活かしていきたいです。